



お隣さんの「きよちゃん」とは大の仲よし♡



村入り後初の行事「どんど焼き」



米作りに挑戦。収穫の喜びは格別!!



名張を知れば知るほど、いろんな宝がみえてくる。 きっと、素敵な「豊かさ」に出会えるはずー

○ 新鮮な村の風習

今年のお正月には村入り後初の行事「どんど焼き」に参加させていただきました。前日に皆さんとともに竹を切り、薬と竹で「どんど」を組み立てます。そして、当日の夜に各自で、まあいいお餅を持ち寄り、今年の健康をお祈りしながら「どんど」の火でお餅を焼いて食べました。夜空に炎が上がる中で焼いたあつあつのお餅の味は今まで食べたお餅の中で一番おいしかったです。

そんな村の風習を教えてください。この土地で生まれ育ったお隣の「きよちゃん」。これからはいろいろなことを教わりたいと思います。また、古民家で住んでいると、土間や台所などが畑仕事と密接に結びついていることや、冠婚葬祭などの行事があれば、大勢の人が集まれるようにできていることなど、古民家の造りそのものが文化であり貴重な財産だと感じました。

○ ミツバチブーム到来!?

これからは、私も村の一員として、その貴重な歴史や文化を皆さんと一緒に大切に守り育てていきたいと心からそう思いました。

これまで、「自然と共に豊かに生きる会」の仲間とともに米や野菜、大豆、こんにやく芋づくりに挑戦したりしてきました。「食」の安全性が揺らぐ昨今、私は趣味で続けていた農業を知れば知るほど、自然をもっと取り入れた暮らしを本格的に始めたいと思うよう

安定的に回収することもあるそうです。ニホンミツバチの蜜源は、100%自然の中。味は濃厚で一度味わったら、その魅力にはまっています。蜂の生態も奥深く、知れば知るほどかわいくなってきました。

○ ハイブリッドなまち名張

そんな自然豊かな名張ですが、その一方で、電車を利用すれば、大阪や名古屋にも簡単にいきますし、生活に必要なものはだいたい近くで揃います。また、駐車場やレジでもあまり並ばなくて済んで、人の多さで疲れることがないということも、大阪で暮らしていた私にとっては感動ものです。

名張は、田舎の素晴らしさ、そして、まちの便利さが絶妙に融合したまさしく「ハイブリッドなまち」。私だけではなく、都会から名張へ来てパン工房を立ち上げた、ブルーベリーの栽培を始めたりと、名張を満喫している人がたくさんいます。気の合う仲間と一緒に趣味を楽しむ生活もよし、自然と親しみ昔の風習を楽しむながら田舎生活を満喫するもよし。そこそこ便利で、そこそこ田舎なまじだから、心豊かに暮らせる選択肢がたくさんあると思います。そして、それが、名張の魅力だった、「ゆとり」だったり、「豊かさ」につながっているのではないのでしょうか。

○ そこにある「豊かさ」

名張のいつもの景色、いつも



念願の古民家に住みはじめて、半年ほどが経ちました。ふすまを開ければ、たくさんの方が集まれます。縁側では、お客さんと気軽に話をする事ができます。まさに、人と人とがかかわれる造りになっているんですね。

会のみんで収穫したお米を釜だきにして食べたり、近所の皆さんが筑前煮を作ってくれたり、馴染みの仲間がコンサートを開いたり、ヤギを連れてきてくれる友人がいたり(笑)と、いつも賑やか。私が、ありのままにできる空間です。



ニホンミツバチの巣箱

人口と世帯数
2月1日現在 ()は前月比

人口 82,088人(-35人) 男 39,775人(+9人) 女 42,313人(-44人)
世帯数 32,660世帯(-2世帯)



ぜひ
広報紙づくりに
ご協力ください

☎ 広報対話室 ☎ 63・7402

■ 市民広報特派員として…

「広報なばり」の記事を、
企画・取材・編集してください。

対象 市内で市民公益活動を行っている団体、
市内在住・在学・在勤の人



◎広報担当と一緒に記事をつくっていただきます(全てを依頼するものではありません)。記事の内容は、「地域の課題」を取り上げたもので、1~2ページ程度。人権・健康・高齢者・障害者福祉、子育て支援、環境保全、防災、防犯、教育、文化、まちづくりなど多岐にわたります。

■ 応募方法・任期など

- 募集期間 2月18日(日)~3月22日(金)
- 応募方法 市役所2階広報対話室で配布する応募用紙に、記事の企画提案内容など必要事項を書いて、ご応募ください。※応募用紙は、市ホームページからも出力可。ファクスでも送付します。
- 定員 3人(団体)程度 ※2つ以上の応募は不可
- 任期 委嘱の日(4月)から平成26年3月31日まで
- 謝礼 10,000円 ◎詳しくは市ホームページをご覧ください。

■ 広報なばりメールサポーターとして…

読者アンケートにご協力ください。



イメージキャラクター「メルサポ大使」

登録者には、電子メールを活用し、「広報なばり」に関するアンケートを配信します。アンケートは、記事が分かりやすかったか、分かりにくかったかなど簡単なものを中心です。

対象 市内在住で中学生以上の人 ※市議会議員、市職員を除く

■ 登録方法・任期など

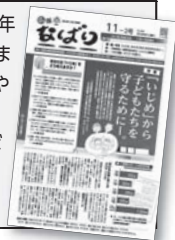
- ①パソコンや携帯電話で市ホームページをご覧ください、注意事項を確認後、**3月22日金までに**、市ホームページに記載の登録用メールアドレスに電子メールを送ってください。
 - ②登録フォームのURLを記載した電子メールが自動返信されますので、接続いただき、必要事項を入力してください。
- 定員 100人 ※先着順 任期 平成26年3月31日まで
◎1,000円分の図書カードを、アンケートに半数以上お答えいただいた皆さんにお渡します。※アンケートは広報なばり4-1号以降、発行号ごとの意見聴取や記事作成前の意識調査など、50回程度



携帯版HP

「広報なばり」が県広報コンクールで3年連続特選!

いじめ防止を特集した「広報なばり」11-2号(24年11月11日発行)が、三重県広報コンクールで特選に選ばれました。「地域全体で取り組む姿勢が感じられた」「分かりやすい文章で、心にも響く」といった点が評価されました。今後も市民の皆さんのご協力をいただきながら「広報なばり」を編集していく中で、皆さんに愛され、市政と暮らしをしっかりと結び情報紙を目指します。



夫が経営する南古山の水耕栽培農場を手伝いながら、今後は農業分野での高齢者や障がい者の雇用にも力を入れていきたいです。みんなが豊かに暮らす一助になればと思います。

になりました。そんな私にとって、名張はまさしく適地。そのひとつがニホンミツバチ。いま巷ではニホンミツバチが密かなブームになっています。名張にもニホンミツバチの愛好家が、けっこういらっしやいます。中にはニホンミツバチを飼いたくて大阪から名張に引っ越して来られた人もいます。私も、昨年からは自宅でニホンミツバチを飼いはじめました。ニホンミツバチの蜜はとても希少価値が高く、市場にはほとんど出回ってません。一般に売られている蜂蜜は西洋ミツバチの蜜です。砂糖水を与えて飼育し、蜜を

の生活…。ずっと名張で暮らし続けると、私も「当たりまえ」と思うようになるかもしれない。だけど、ときどき、ふと立ち止まって、いまの感動を思い出し、そこにある「豊かさ」に感謝したいと思います。そして、これからもいろんな人とながって「豊かさ」を楽しく分かち合っていければと思います。



ニホンミツバチの師匠、橋本靖成さん(平尾/上写真)に、養蜂の奥深さを教えてもらっています。仲間も増えて、ますますはまっています。

自然を愛する人とつながったり、つなげたりすることが、「自然と共に豊かに生きる会」の活動です。

【お問い合わせ先】「自然と共に豊かに生きる会」
☎ 090-4561-9552 (井上)



読者の声

2-1号掲載「救急医療情報キット」について ▼我が家も高齢の母と同居していますが、日中は私が仕事で母一人になるので、ぜひ申し込みたい。▼母親が常時5~6種類の薬を飲み、本人以外分らない状況です。薬の名前など整理し、誰でも分かる状態にしておく必要があると感じた。